

東淀川区役所と



大阪成蹊大学・大阪成蹊短期大学

大阪成蹊大学 副学長 芸術学部 門脇 英純 教授

と連携したまちづくり

大阪経済大学

大阪経済大学 人間科学部 高井 逸史 教授



東淀川区の社会的課題に学生が挑む 地域連携PBL(問題解決型学習)

東淀川区との連携協業のきっかけは、私から区に「芸術学部と連携しませんか」と声かけしたことでした。企業や行政との連携は、課題に対して多くのアイデアが求められます。行政の社会的課題を学修教材とし、PBL(Project Based Learning)を行いたいと思っていました。PBLとは「問題解決型学習」などと訳される勉強法で、学生が自ら問題を見つけ、解決する能力を身に付けていく学修方法です。芸術学部のPBLの特徴は企画提案だけでなく、実際にデザインし現物を作成します。

地域連携PBLの授業を通して作り上げた「東淀川区オリジナル婚姻届」は、実際に区民に活用されています。また、芸術学部では3年次後期の「地域連携PBL」の授業において、「防災」をテーマとしたPBLに取り組んできました。2017年の学生提案の「ペタッとステッカー」や「デジタル紙芝居」など、防災行政にも採用されています。

学生の自主性・積極性を養い 問題解決能力や学修意欲を高める

企業・行政から与えられる課題の解決を目的としたPBLでは、チーム学習を通して情報収集、問題発見、課題解決について学びます。「答えや解決方法が一つだけではない問題」という高い壁に挑戦することで、学生の学修意欲を高めることができます。授業での最終成果発表後には、代表チームによるコンペティションとして「大阪成蹊カップ」プレゼンテーション大会でも発表を実施。学生自らが課題を明らかにし、積極的に行動することはもちろん、困難な課題も最後までやり遂げる力をつけることをめざしました。

2016年の「災害時の外国人向けコミュニケーションシート」も印象に残っています。英語、中国語、韓国語が記載されており、シートの絵や単語を指し示すことで身体の不調や必要なもの、持病やアレルギーの有無などを伝えることができます。こちらも東淀川区で導入されています。



コミュニケーションシートの一例

社会変化にも柔軟に対応できる人材育成

東成区では小中学生向けSDGs学習教材の開発をテーマとし、SDGsのPBLを行っています。他にも三島郡島本町では店舗を中心としたプロモーションデザインの提案、吹田市ではキャラクター「すいたん」のコスチュームデザインなど、東淀川区だけでなく、周辺都市でも様々なプロジェクトを推進してきました。また、実際に商品を作る実践的なプロジェクト科目として、ペットボトルのラベルやカップラーメンの開発なども行いました。このようなプロジェクトを通して課題を発見し、新しいアイデアを生み出していくことが、学生が身につけるべき力であり大学の使命だと思っています。

企業や行政といった実社会と学生の間接点に豊富にあること、プロジェクト型の授業が充実しているのが芸術学部の強みの一つです。一大総合大学として飛躍し続ける大阪成蹊大学は、PBLなどの学修方法を通じ、地域と共にさらに発展していくことをめざしています。

コロナ禍におけるフレイル*予防に注目し 健康寿命を伸ばすまちづくりを促進

*フレイル：心と身体の衰えが加齢のスピードよりも進行している状態。

大阪経済大学は東淀川区との連携協働に関する協定に基づき、地域コミュニティの推進や地域福祉の充実などに取り組んでいます。その中でも人間科学部では、健康寿命を伸ばすまちづくり、健康づくりと災害に強いまちづくりを行っています。

私が研究しているのはフレイルを予防する効果的な仕組みです。2020年5月緊急事態宣言中に、介護認定を受けている高齢者570名に健康被害を調査。デイサービスを控えたグループと通い続けたグループに分けて比較したところ、控えたグループは通い続けたグループよりもうつ傾向が3.5倍、転倒不安が6.1倍、物忘れについては9.6倍も多いことが判明し、自粛生活が心と身体のフレイルを一層進行させる「コロナフレイル」の実態が明らかになりました。そこで、コロナフレイル予防のために、地域住民と共創した健康講座のプランニングやマネジメント、住民主体の体操クラブの創設に携わっています。

学生も積極的に参加 地域住民の健康に関わる様々な取組

コロナ禍のフレイル予防を理解していただくため、昨年8月より「フレイル予防講座・相談会」を開いています。また、東淀川区内で実施されていた「いきいき百歳体操」に私が考案した認知症予防体操「コグニサイズ」などを追加し、2019年に「わくわく!いきいき百歳体操」として生まれ変わりました。

2017～2019年には、災害発生時に帰宅困難者にならないために5時間歩ける健脚づくりを促進するイベント「OSAKA 5GO! WALK」を東淀川区と共催。5kmコースで学生企画「自分の防災マップを作ろう!」を実施しました。また、うさぎとかめの歌に合わせて、ゆっくりと体を動かす高齢者向けの「5GOもしかめ体操」を監修。動画では、ゼミの学生が東淀川区の地域の皆さんと一緒に体操しています。

他にも、学生によるスマホLINE講座や小松商店街の銭湯での「かんたんスマホ講座」も始めました。フレイル予防はもちろん安否確認への活用も期待でき、これまで約80名の区民の方に受講していただきました。高齢者の社会的孤立を防ぐことはもちろん、暮らしの満足度や充実感(well-being)を高めるためにも、健康をサポートする取り組みを続けていきます。



学生によるスマホLINE講座

心・体の健康と防災セミナー2022

区民の健康増進と区民同士の交流づくりを目的に、**無料** **申込不要** 心・体の健康と防災セミナー(全14回)を開催します。どのテーマでも、ひとつからでも受講可能です! お気軽にご参加ください!

- テーマ (一例) 5月13日(金)「たかが健康食品、されど健康食品」 6月 3日(金)「大雨・洪水の備え(仮)」 6月24日(金)「タッピングタッチによるセルフケアとマインドフルネス」

※内容等変更する場合があります。詳細はお問合せください。

場所 大阪経済大学 70周年記念館ギャラリー **定員** 各50名(先着順) **大阪経済大学 社会連携担当** ☎ 6990-3694

東淀川区は区内2大学と協定を結び様々な分野で連携しています

東淀川区役所では大阪成蹊学園と大阪経済大学との間で、地域コミュニティの推進や地域福祉の充実等の連携・協働を掲げた基本協定の締結のほか、大阪成蹊大学と災害時における避難所等施設の使用に関する協定を、大阪経済大学と災害に強いまちづくりに関する連携協定を締結し、今回ご紹介したように東淀川区の様々な課題の解決に取り組んでいます。

キャンパスを構える大学が区内に2校ある特色を活かし、両校と協定を結び学術の成果や若い力をまちづくりに活かせる良好な関係を築けていることは東淀川区にとっても大きな強みとなっています。

協定に基づいて、今後もより一層協力関係を深め、地域の発展や魅力向上、防災能力の強化など様々な取り組みに連携して取り組んでまいります。

☎ 総合企画 3階31番 ☎ 4809-9683



東淀川区長 西山 忠邦